

植物防疫基礎講座：アブラムシ類の見分け方(6)

## 果樹のアブラムシ類(3)

皇學館大学 <sup>そう</sup>宗 <sup>りん</sup>林 <sup>まさ</sup>正 <sup>と</sup>人

前回(植物防疫 56(10)28~33)につづいて果樹のうちモモ、スモモ、ウメ、バナナ、ブドウのアブラムシ類について記述する。

### IV モモ、スモモ、ウメを加害するアブラムシ

#### 1 アブラムシの種類

モモ、スモモ、ウメを加害するアブラムシとしてユキヤナギアブラムシ、ワタアブラムシ、モモコフキアブラムシ、ハスクビレアブラムシ、ムギクビレアブラムシ、オカボノアカアブラムシ、ナシアブラムシ、ムギワラギクオマルアブラムシ、ウメコブアブラムシ、モモアカアブラムシ、カワリコブアブラムシ、ホップイボアブラムシ、モモコブアブラムシ、ニワウメクロコブアブラムシなど14種が記録されている。

#### 2 種の検索表(無翅胎生雌虫)

- (1) 体表に顕著な白色粉状蠟質物を装う……………(2)
  - 体表には白色蠟質物を欠き、概して光沢がある……………(3)
- (2) 体は帯青緑色、体表全面に蠟質物を装う……………モモコフキアブラムシ
  - 体は帯赤暗褐色で、各節背面に帯状に白色粉を装う……………オカボノアカアブラムシ
- (3) 体側に小乳頭状突起を有する……………(4)
  - 体側に小乳頭状突起を欠く……………(8)
- (4) 体は黄緑色ないし緑色で額瘤は発達しない。腹部第7節の体側小乳頭状突起は、その節の気門よりも腹面寄りにある。……………(5)
  - 体は黄褐色ないし暗褐色。額瘤わずかに突出する。腹部第7節の体側小乳頭状突起は、その節の気門よりも背面寄りにある……………(6)
- (5) 尾片は黒色で毛は約10本……………ユキヤナギアブラムシ
  - 尾片は角状管よりも淡色で毛は4~6本……………ワタアブラムシ
- (6) 体色は鮮黄緑色……………ナシアブラムシ
  - 体色は暗赤褐色または暗緑色……………(7)

- (7) 角状管は触角第3節よりも長い……………ハスクビレアブラムシ
  - 角状管は触角第3節よりも短い……………ムギクビレアブラムシ
- (8) 額瘤は小さい。角状管は基部の幅の約1.5倍長、平滑である。尾片は半円形またはヘルメット状で毛は4~6本……………ムギワラギクオマルアブラムシ
  - 額瘤顕著に突出し、先端部は内方に傾く。角状管は長く基部の幅の3倍以上。尾片は舌状で毛は4~12本……………(9)
- (9) 体色は全体黒褐色…ニワウメクロコブアブラムシ
  - 体色は黄緑色、緑色、淡紅色……………(10)
- (10) 角状管は前半部が膨れる。体色には黄緑色から緑色、淡紅色のものがある……………モモアカアブラムシ
  - 角状管は円筒状で前半部漸次細くなる……………(11)
- (11) 角状管に2~8本の毛を生じる……………モモコブアブラムシ
  - 角状管は無毛である……………(12)
- (12) 尾片の毛は10~12本……………ホップイボアブラムシ
  - 尾片の毛は6~8本……………(13)
- (13) 触角の第3~6節先端部および角状管の先端部は黒褐色……………カワリコブアブラムシ
  - 触角は第6節を除く他の部分は黄緑色。角状管は淡褐色……………ウメコブアブラムシ

#### 3 各種の解説

- (1) ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER (ミカンの項参照)
- (2) ユキヤナギアブラムシ *Aphis spiraeicola* PATCH (ミカンの項参照)
- (3) ムギワラギクオマルアブラムシ *Brachycaudus helichrysi* (KALTENBACH) (ミカンの項参照)
- (4) モモコフキアブラムシ *Hyalopterus pruni* (GEOFFROY) (図-1, 5, 10 および 16)

無翅胎生雌虫：体長約2.5mm。緑色で表面に顕著な白色蠟質物を装うので青緑色に見える。触角は6節(幹母は5節)。口吻末端節はほぼ三角形で後脚跗節第2節の約1/2。角状管は基部の幅の約2.7倍長。中央部わずかに膨らむ。尾片は淡褐色で先端まるく、毛は約6本。  
有翅胎生雌虫：体長約1.9mm。触角(図-5)の二次感

Aphids of the Fruit-trees (3). By Masato Sorin  
(キーワード：果樹、モモ、スモモ、ウメ、バナナ、ブドウ、アブラムシ)